

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険および物的損害が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

▲注意

- 必ず錠セットを取り付け、枠につり込んだ後はラッチを掛けてください。枠ごと運ぶ場合もラッチを掛けたまま行ってください。錠セットを取り付ける前に枠へつり込むと、ドアが勝手に開き危険です。
- 丁番の取付けねじは奥まで締め付けてください。ねじがゆるいとドア本体脱落の原因となります。

■使用ねじ・部品一覧表

●図中の記号は、使用ねじ及び部品の種類を示します。

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
φ4×75 ナベタッピンねじ	φ4×40 ナベタッピンねじ	下枠アンカー	プッシュボタン	ドアガード受け(枠用) (M4×16/バインド小ねじ)	ドアガード受け(子扉用) (M4×16/バインド小ねじ)	ドアガードアーム (M4×12皿小ねじ) ※1(φ4×25タッピンねじ1種)	M4×10 トラス小ねじ	無目端末ビス	ガラスライナー (ランマ用)

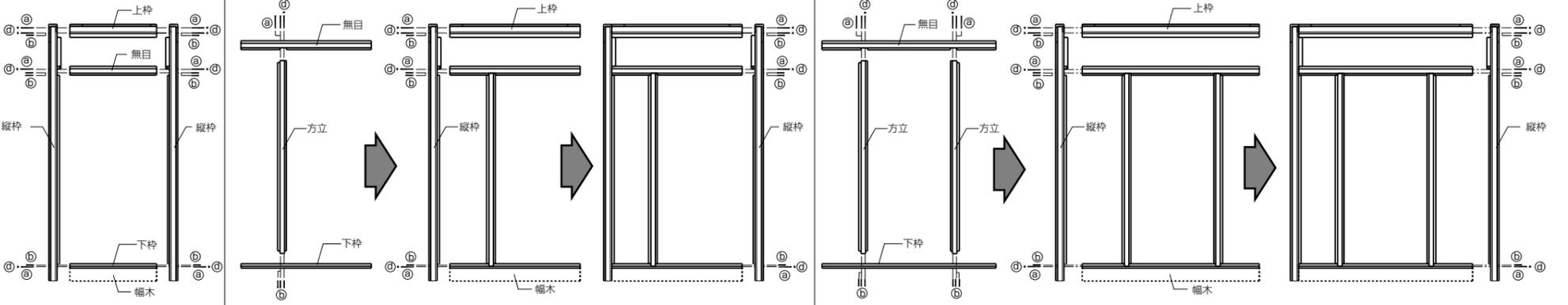
注1. フラッシュドアへの取付け用

■組立て順序

●30・45親子・60両開き
・ランマ無しの場合、無目は
ありません。

●45片袖・60片袖親子(袖パネル)
・枠の組立て後、袖パネル(別売り品)
を取り付けてください。

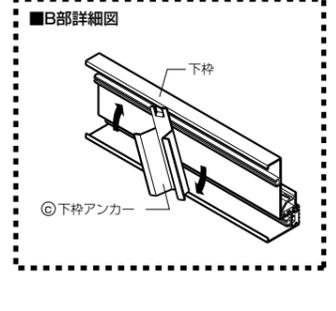
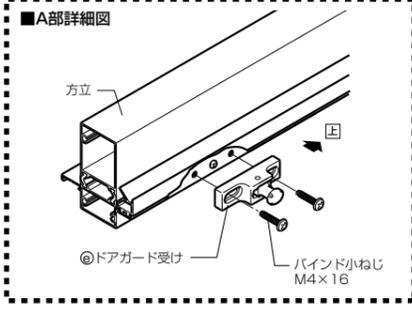
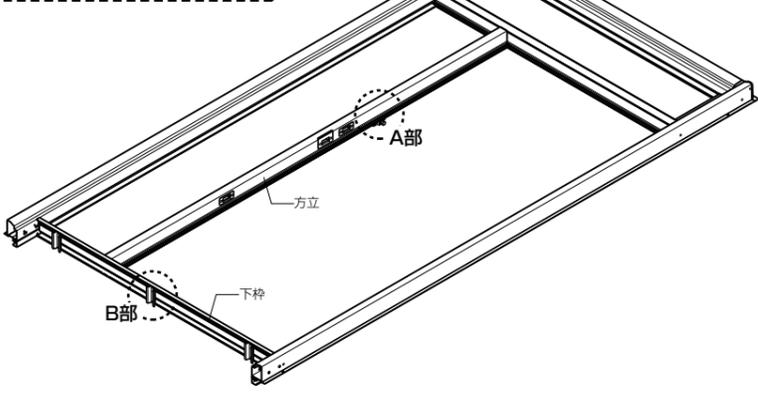
●45・60両袖(袖パネル)
・枠の組立て後、袖パネル(別売り品)を
取り付けてください。



■組立て詳細図(部品の取付け)

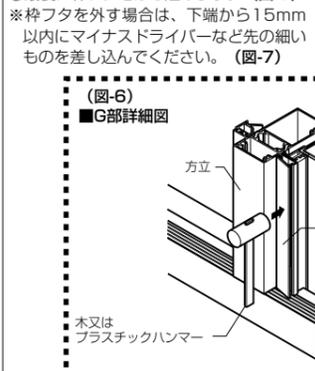
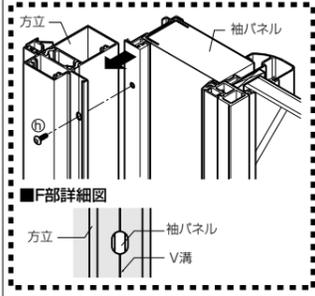
■幅木を取り付ける場合

- 幅木は別売りを使用します。取付け説明書は、幅木セットの中に同梱してあります。
- 下枠幅木は必ず枠組立てと同時に取付けてください。

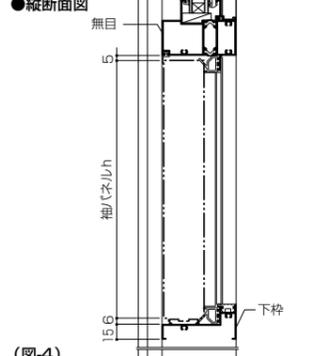


■袖パネルの取付け

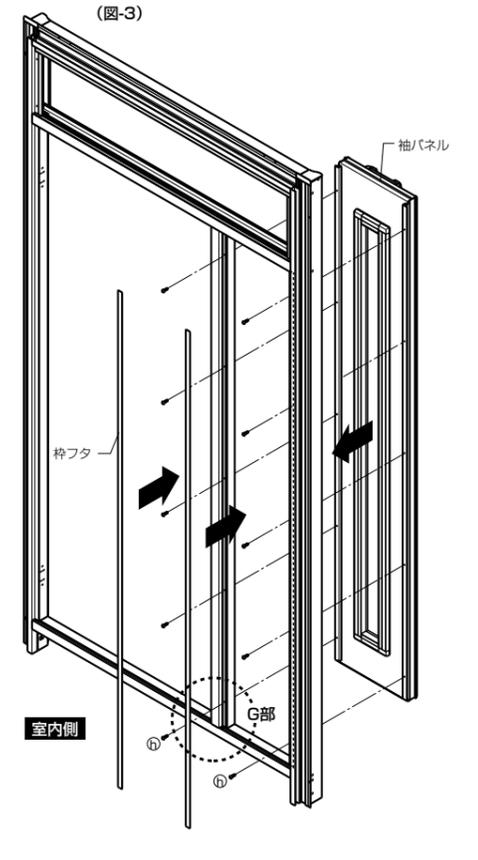
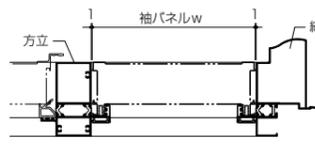
- ①袖パネル下部を下枠に当て、室内側からねじ止めします。(図-3)
※袖パネルの位置決めをする際、袖パネルのU溝に方立の穴を合わせてください。(F部詳細図)
- ②袖パネルが正しく取り付けられているか確認してください。(図-4・5)
- ③最後に枠フタをはめ込みます。(図-6)
※枠フタを外す場合は、下端から15mm以内にマイナスドライバーなど先の細いものを差し込んでください。(図-7)



●縦断面図



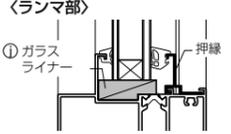
●横断面図



■ガラスの入れ方

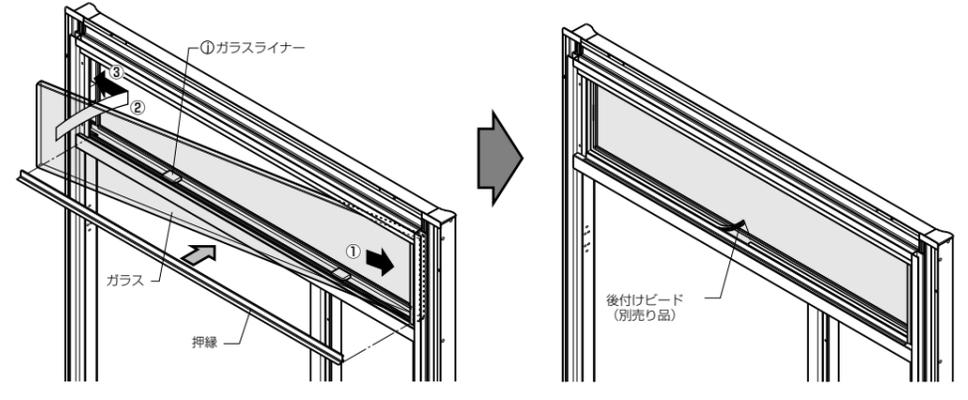
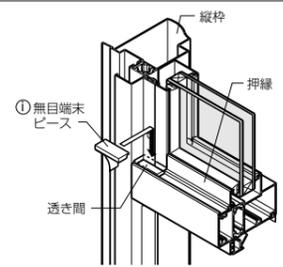
- ガラスをケンドン入れ、ガラスライナーをガラスの下に置きます。押縁を取り付け、後付けビード(同梱品)で固定してください。
- ※ガラスライナーの向きを確認してください。

■ガラスライナーの向き(ランマ用)



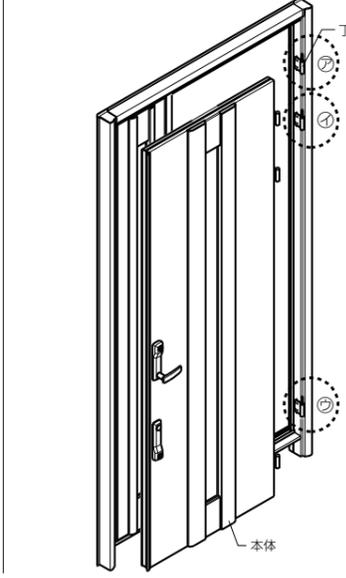
■無目端末ビスの取付け

- ※押縁を取り付けた後、縦枠との透き間に無目端末ビスを張り付けてください。張付け面は、ゴミ・水分等をふき取ってください。

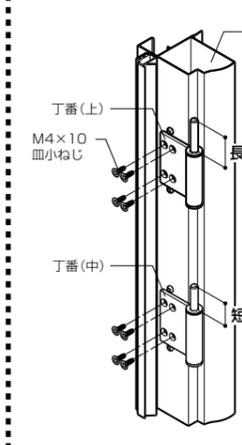


■丁番の取付けと本体のつり込み

- ①丁番は上・中・下の区別があります。軸の長い丁番は上、軸の短い丁番は中・下になるように取り付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。)
本体側は、M4×18皿小ねじ(長い方のねじ)で取り付けてください。
- ②ドア本体を①・①・②の順でつり込みます。



■上・中部丁番詳細図



■下部丁番詳細図

